

2. 現況の実態調査

2-1. 大磯駅周辺の現況

2-1-1. 大磯駅周辺の特性

①大磯駅周辺は生活利便施設の集まるまちの拠点

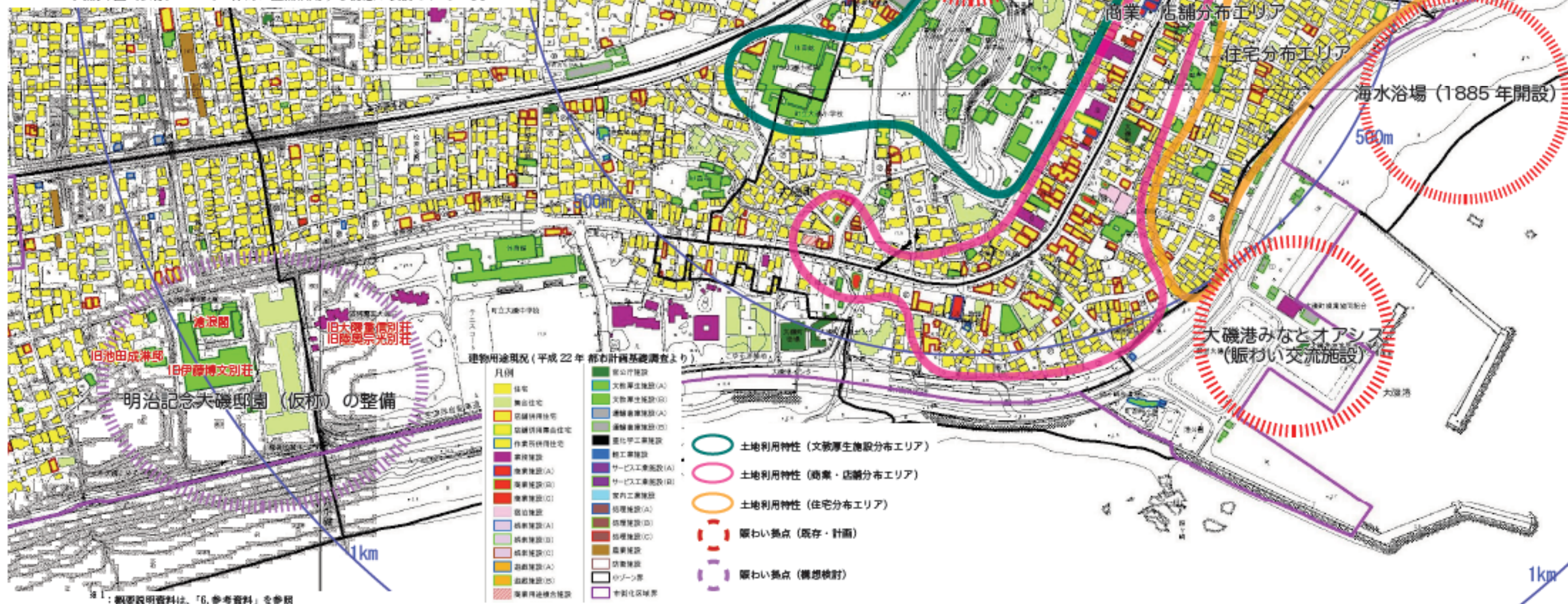
- ・駅前一帯は、教育施設や社寺仏閣等（文教厚生施設）が多く、豊かな自然、歴史や文化が継承された落ち着いたたたずまいである。
- ・国道1号沿いに店舗併用住宅と商業施設、官公庁の施設が分布し、生活利便性の高い施設が多く分布する。
- ・海側はかつて旧東海道の宿場で、細街路が多く住宅が分布している。

②丘陵地に囲まれた駅前広場

- ・丘陵地に囲まれた駅前広場のため、店舗の立地、広場や道路などの空間利用が制約されている。一方で丘陵地の縁、駅舎や大蔵駅前洋館（旧木下家別邸）などが残り、大正期より変わらぬ趣がある。

③駅から1 km 圏内徒歩圏に形成される新たなにぎわい拠点

- ・駅から約 500 m の海岸沿いに、海水浴場（1885 年開設）が設置されている他、大磯港みなとオアシスの整備計画がある。
- ・さらに駅から約 1 km に位置する旧伊藤博文邸（滄浪閣）などが、明治記念大磯邸園（仮称）として一体的に整備活用する構想が検討されている。



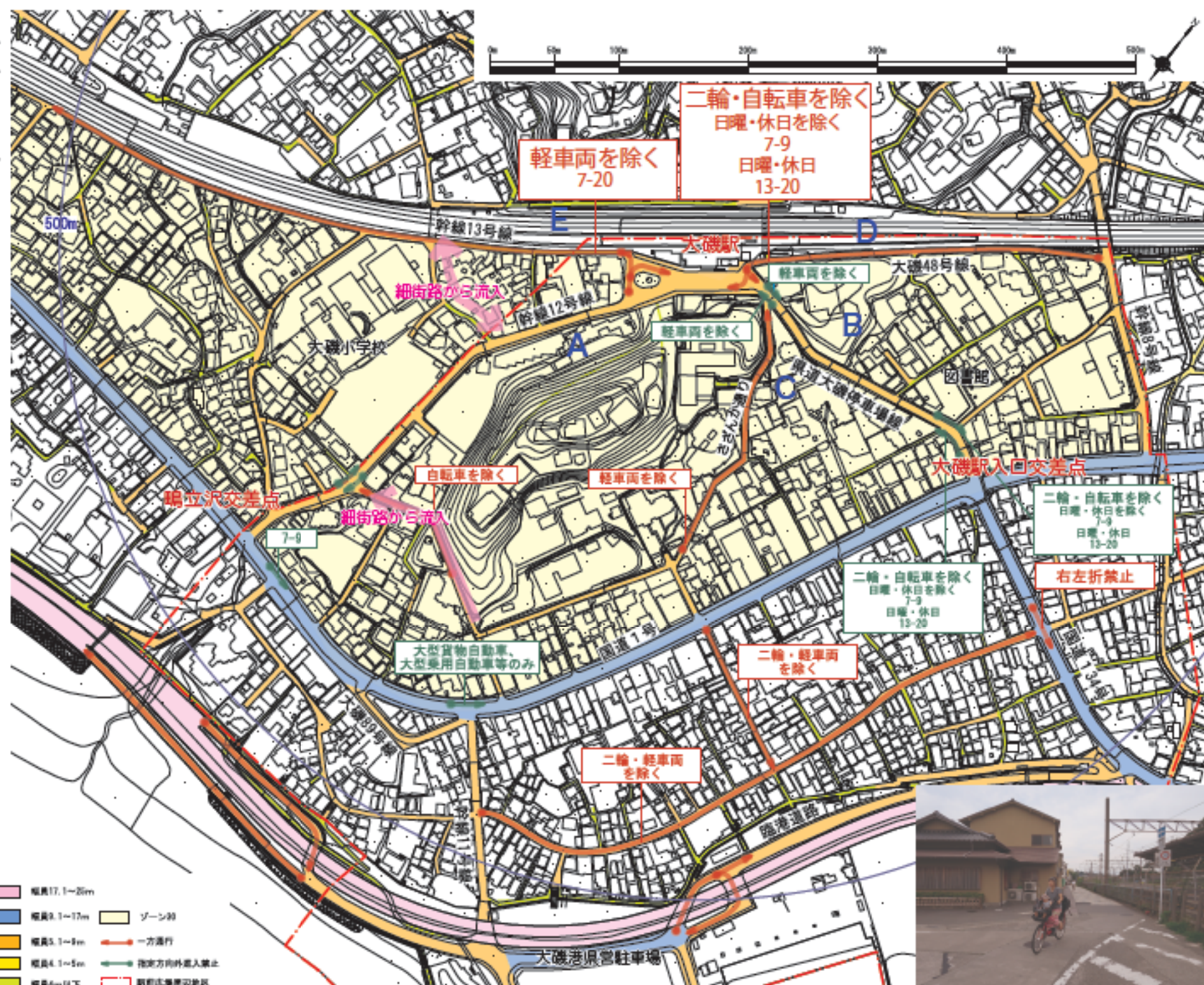
2-1-2. 道路の交通規制、幅員の状況

- ・大磯駅前広場に接続する道路の規制は、幹線13号線は駅前広場から流出方向に、大磯48号線とさざんか通りは駅前広場へ流入方向に条件付きの一方通行となっている。
- ・全域で、幅員4m以下の細い道路が入り込んでいる。車両のすれ違いが難しい道路の一部で、一方通行や指定方向外進入禁止の規制がされており、袋小路も多い。
- ・大磯駅周辺の東海道線と国道1号の間の道路は「ゾーン30※1」に設定されており、制限速度が時速30kmとなっている。

※1：抜け道利用や自動車の走行速度を抑制することで、歩行者等の安全を確保することを目的として、神奈川県警察が住宅地等をゾーンとして区域設定したもの。

番号	名称	管理者	現況断面図 ◆代表地の道路横断面図のため部分的に道路幅員や幅員構成が異なります。
—	大磯駅前広場	大磯町	—
①	国道1号	国土交通省	
②	国道134号	神奈川県	
③	県道大磯停車場線	神奈川県	
④	臨港道路	神奈川県	
⑤	幹線8号線	大磯町	
⑥	幹線12号線	大磯町	
⑦	大磯48号線	大磯町	
⑧	幹線11号線	大磯町	
⑨	大磯89号線	大磯町	

出典：大磯駅バリアフリー基本構想（平成23年3月大磯町）



A. 幹線12号線



B. 県道大磯停車場線



C. さざんか通り



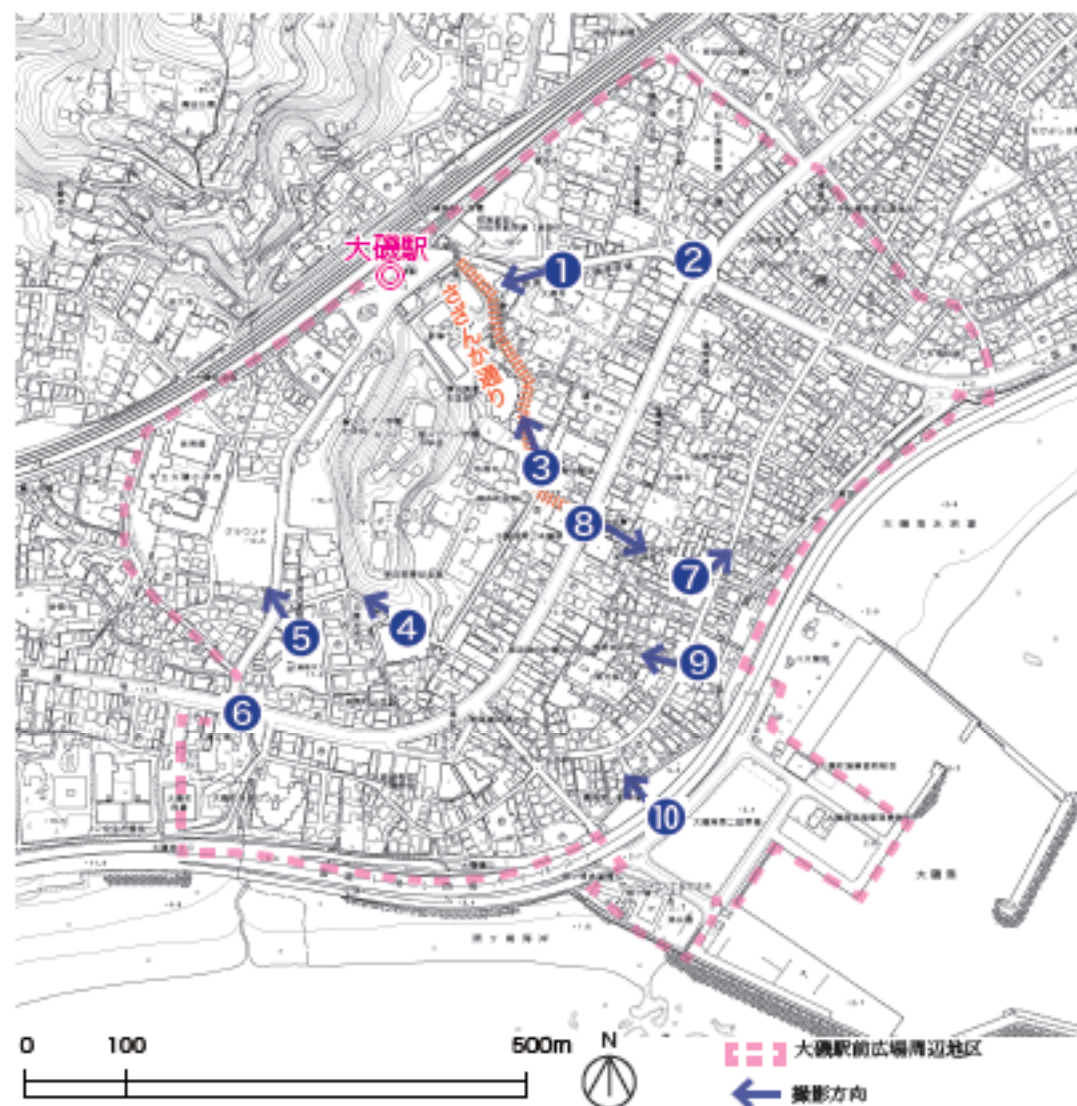
D. 大磯48号線



E. 幹線13号線

2-1-3. 道路の利用や沿道の状況

- ・大磯駅への主要動線である県道大磯停車場線と幹線12号線は歩道が狭い。
- ・大磯駅前から地福寺に続くさざんか通りは、車の交通量が少なく駅と港をつなぐ散策路として歩きやすい。
- ・港沿いから1本山側に入った通りは、宿場町の雰囲気を残し、松や神社、道祖神、蔵が点在している。



① 駅と国道1号をつなぐ県道大磯停車場線坂道でカーブしており、歩道が狭い。バスの走行は中央線をはみ出している。



② 大磯駅入口交差点の様子歩道橋があるが、平成10年に横断歩道・自転車横断帯が設置された。



③ さざんか通り舗装はブロック敷で整備され、通り沿いには風情ある建物が多い。写真方向へ一方通行のため車通りは少ない。



④ 聖岩神社脇の切り通し岩肌突き出しの壁に挟まれた特徴的な空間となっている。写真方向へ一方通行



⑤ 駅と国道1号をつなぐ幹線12号線小学校前から駅までは、聖ステパノ学園側歩道の上にガードレールが設置されている。



⑥ 晴立沢交差点の様子



⑦ 通りの所々に植えられている松宿場町の名残を感じることができる。



⑧ 国道1号から港へ向かう路地国道1号北側のさざんか通りからの連続性がない。



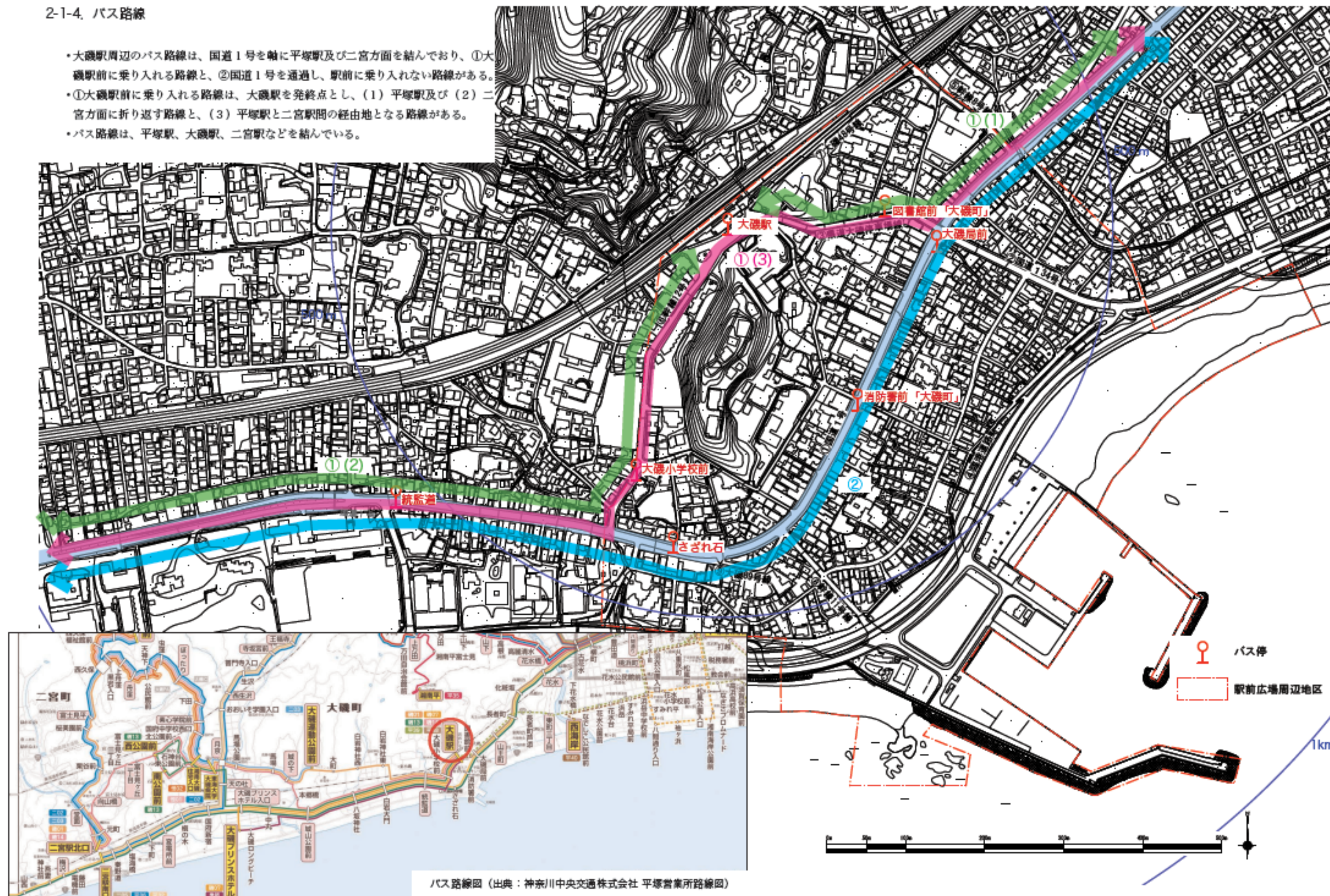
⑨ 熊野神社の参道通りの所々で神社や古い蔵が見られる。



⑩ 避難経路大磯港の第1駐車場からの避難経路が階段となっている。

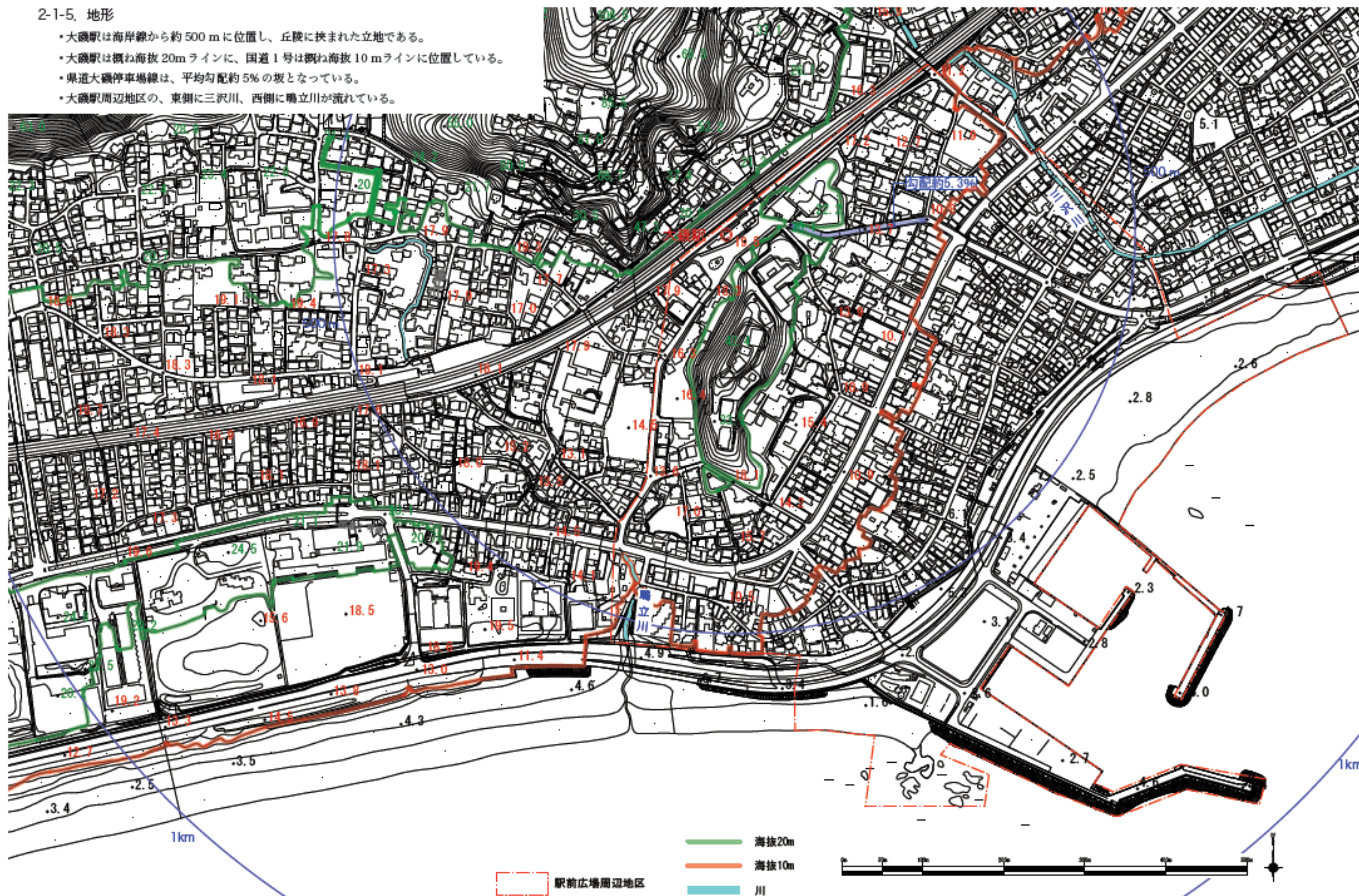
2-1-4. バス路線

- ・大磯駅周辺のバス路線は、国道1号を軸に平塚駅及び二宮方面を結んでおり、①大磯駅前に乗り入れる路線と、②国道1号を通過し、駅前に乗り入れない路線がある。
- ・①大磯駅前に乗り入れる路線は、大磯駅を発終点とし、(1) 平塚駅及び(2) 二宮方面に折り返す路線と、(3) 平塚駅と二宮駅間の経由地となる路線がある。
- ・バス路線は、平塚駅、大磯駅、二宮駅などを結んでいる。



2-1-5. 地形

- ・大磯駅は海岸線から約 500 m に位置し、丘陵に挟まれた立地である。
- ・大磯駅は概ね海拔 20m ラインに、国道 1 号は概ね海拔 10 m ラインに位置している。
- ・県道大磯停車場線は、平均勾配約 5% の坂となっている。
- ・大磯駅周辺地区の、東側に三沢川、西側に鴨立川が流れている。



2-1-6. 公共施設、社寺等の分布

かつて大磯駅前には邸園が多く存在していた。大磯駅前洋館（旧木下家別邸）※や旧岩崎弥之助別荘など、当時の風情がわずかに感じられる。

駅前広場周辺地区は、町の主要公共施設や社寺仏閣、史跡が分布し、町の中心拠点となっている。

※大磯駅前洋館（旧木下家別邸）：現在は大磯町が所有し、「インターナショナル青和」がイタリアン・レストラン&サロン「大磯迎賓館」として運営している。平成24年2月に国の登録有形文化財（建造物）に登録されている。

